

プログラム

8:45-8:50 (5分)

開会の辞

会長あいさつ

公益社団法人地域医療振興協会 有田市立病院管理者 加藤 正哉

8:50-9:45 (55分)

一般演題 1 (口演)

(発表 6 分+質疑 3 分)

座長 自治医科大学 医学部救急医学講座 教授 米川 力
演者

- ① へき地医療機関で経験したガンマブチラクトン集団中毒
西臼杵医療センター 高千穂町国民健康保険病院 佐藤 良亮
- ② 非高エネルギー外傷による股関節後方脱臼を徒手整復した 1 例
市立函館病院 小林 奏美
- ③ 頸動脈超音波を用いた与那国島民の血管評価
与那国町診療所 岩松 託也
- ④ へき地発生の院外心停止を救う移動救急手術室ドクターカーV3
八戸市立市民病院 救命救急センター 十倉 知久
- ⑤ 離島における旅行妊婦の急変対応の現状-対応経験者へのインタビュー調査-
京都橘大学救急救命学科 関根 和弘
- ⑥ 地域の医療課題に適応する多目的移動診療車の開発構想
自治医科大学 医学部救急医学講座 米川 力

09:45-9:50 (5分) 休憩

休憩

9:55-10:40 (45分)

会長講演

会長講演

座長 国立病院機構 長崎医療センター 院長 高山 隼人
演者 公益社団法人地域医療振興協会有田市立病院管理者・会長 加藤 正哉 (30 分)
指定発言 公益社団法人地域医療振興協会 会長 吉新 通康 (15 分)

10:40 -11:40 (60分)

スポンサードシンポジウム

へき地・離島における救急システムの目指す姿

～遠隔集中治療システムと地域医療連携構想を土台に～

座長 株式会社 CROSS SYNC 事業推進部部長 山田和幸

- ① 自治医科大学附属さいたま医療センター 集中治療部 統括 讃井 将満
- ② 和歌山県福祉保健部 福祉保健政策局 医務課 地域医療班長 藏光 良
- ③ 株式会社 CROSS SYNC 代表取締役 CEO 田中 正視

11:45-12:35 (50分)

ランチョンセミナー

医食のチカラ ～へき地・離島の日常と有事を支える食の力～

日清医療食品株式会社

12:45 -13:00 (15分)

総会

13:00-14:05 (65分)

一般演題2 (口演)

(発表6分+質疑3分)

座長 長崎県対馬病院 院長 八坂貴宏

演者

- ① 民間医療搬送用ヘリ運行休止前後の患者航空搬送の変化
長崎県対馬病院 平戸 優樹
- ② 病院を基盤とする地域枠医師の新たなへき地診療所派遣体制
—和歌山県2地域における体制形成と初期課題—
和歌山県立医科大学 地域医療支援センター 多田 明良
- ③ へき地に救急医は必要か —関係機関へのアンケート調査と検証—
宮崎大学医学部附属病院 高度救命救急センター 黒木 琢也
- ④ グループ病院スケールメリットを活かす24時間専門医相談システム
「それでいいよプロジェクト」の試行報告
医療法人徳洲会 北谷病院 仲間 直崇
- ⑤ 鹿児島県の地域枠医師における専門医取得に関する調査報告—第2報—
鹿児島大学病院 地域医療支援センター 古田 真美
- ⑥ 地域枠医師は、どのような専攻医を選択し、医療提供体制に効果をもたらしているか
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 離島へき地医療人育成センター 水間 喜美子
- ⑦ キャリア早期医師の都市部ロックインと分布動向：1996・2006年コホートでの
10年間の縦断分析
帝京大学ちば総合医療センター 井上 和男

14:05-15:05 (60分)

特別講演

タイトル

座長 八戸市立市民病院 事業管理者 今 明秀

演者 NHK大相撲解説者 舞の海 秀平

15:05-16:35 (90分)

シンポジウム

テーマ「持続可能なへき地・離島の救急医療」

座長

横須賀市立総合医療センター副管理者兼救急総合診療部長 本多 英喜

日光市民病院 管理者 杉田 義博

- ① 宮崎県立延岡病院 総合診療科主任部長 松田 俊太郎
- ② 市立奈良病院 総合診療科部長 山口 恭一
- ③ 日光市民病院 管理者 杉田 義博
- ④ 長野原町へき地診療所 所長 金子 稔

16:35-16:40 (5分)

閉会の辞

公益社団法人地域医療振興協会有田市立病院管理者・会長
加藤 正哉